

アメリカザリガニを捕獲するための効果的な装置と器材

NPO 法人シナイモツゴ郷の会 長谷川政智・久保田龍二・
根元信一・高橋清孝

現在、アメリカザリガニの駆除が各地で行われており、捕獲用漁具としてアナゴカゴ、カニ籠、網もんどりが一般に使われている。これらのトラップでは、中に餌を入れて捕獲するが、アメリカザリガニが餌に誘引されトラップに入るまで時間が必要となる。また、駆除圧を高めるためには、多くのトラップが必要となり、設置や回収に大きな労力を必要とする。駆除現場では、常に、少ない労力で多くのアメリカザリガニを捕獲することが求められている。シナイモツゴ郷の会では、効率的な捕獲方法と装置や器具の開発に取り組み、連続捕獲装置の小型化やプラスチック製の定置網、杉の枝葉や養殖ノリ網を使ったしぼづけを考案、作成し現地で捕獲試験を実施している。これらの装置と機材の現物を展示紹介する。

1 小型連続捕獲装置

2016年に開発した連続捕獲装置の小型化を図った(右写真)。水上設置する自動給餌装置の自動給餌器を収納する容器を小型化した。これにより、架台も単管パイプなどを用いて単純な構造にすることができた(下写真)。



2 プラスチック製定置網

侵入個体を阻止・捕獲するため当初、市販の小型定置網を使用した(写真1)。しかし、ハクビシンなどの動物に網が壊されることが度々起こった(写真2,3)ことから、プラスチック製の定置網を開発した(写真4,5,6)。侵入個体には稚ザリを抱いた雌個体が捕獲されるので、親が放出した稚ザリを回収するため、底面には網目1mmのネットを取り付けた。



3-1 杉の枝葉を使ったしばづけ

餌の誘引による捕獲法では、大型個体が優先して捕獲され、大型個体を減少させた後で小型個体が捕獲される。駆除当初から大型個体と小型個体を同時に駆除することで駆除効果を高められるだろう。特にトラップで捕獲しにくい小型個体が出現する時期に多くの小型個体を捕獲できた。



3-2 養殖のり用のり網を使ったしばづけ

杉の枝葉は、都会では手に入りにくいだろう。捕獲数は杉の枝葉を使ったしばづけより多い時少ない時があるがとある。しかし、のり網は枯れて葉が落ちることがなく長期間使用できる。形状や設置方法を工夫することが必要だ。

